

平成 18 年 7 月 31 日

浦安市中央公民館長	酒井	哲男	
浦安市堀江公民館長	高梨	晶子	
浦安市富岡公民館長	熊川	利幸	
浦安市美浜公民館長	飯塚	義勝	様
浦安市当代島公民館長	長島	常和	
浦安市日の出公民館長	中島	貴義	

浦安市公民館運営審議会  
委員長 竹本 正和

平成 17 年度浦安市公民館運営審議会への諮問について（答申）

平成 17 年 11 月 11 日付け浦中公第 121 号で諮問されました下記の内容につきまして、別紙のとおり、答申いたします。

#### 記

##### 諮問の内容

1. 2007 年問題と公民館事業のあり方について
2. 今後の公民館定期利用団体登録制度のあり方について

## 別紙

### 2007年問題と公民館事業のあり方について

はじめに

我が国の総人口は、平成17(2005)年10月1日現在、1億2,769万人となっているが、このうち、65歳以上の高齢者人口は2,559万人であり、総人口に占める割合（高齢化率）は、20.0%となっている。また、高齢者人口のうち、前期高齢者（65～74歳）人口は1,402万人（男性654万人、女性749万人、性比87.3）、後期高齢者（75歳以上）人口は1,157万人、（男性428.5万人、女性728.5万人、性比58.8）となっている。高齢者人口は平成32（2020）年まで急速に増加し、その後はおおむね安定的に推移すると見込まれている。一方で、総人口が平成18(2006)年にピークを迎えた後、減少に転ずることから、高齢化率は上昇を続け、27(2015)年には高齢化率が26.0%、平成62(2050)年には35.7%に達し、国民の約3人に1人が65歳以上の高齢者という本格的な高齢社会の到来が見込まれている。

千葉県は、平成17(2005)年4月1日現在の総人口は、611万人で、65歳以上の高齢者人口は102万人で高齢化率が16.7%となっている。その中で、75歳以上の後期高齢者人口は41万人で、総人口の6.7%となっている。

浦安市の平成18(2006)年4月現在の人口は、15万2,366人。65歳以上の男性が6,727人、女性が7,797人、合計1万4,524人。高齢化率が9.53%となっており、全国的にも最も高齢化率の低い自治体となっている。この背景には、平成12(2000)年～17(2005)年の人口増加率が16.8パーセントで、全国で最も高く、若い世代が転入してきていることが考えられる。しかしながら、一部の地域では、高齢化が進んでおり、ほぼ全国平均に並ぶところもある。また、55歳以上の比率を見ると全市では、21.99%となっているが、一部の地域では30%を越えている。10年後、高齢化が一気に進み超高齢社会になることが予想される。これは第1期埋立地に昭和40(1965)年代後半から50(1975)年代初頭に掛けて転入してきた「団塊の世代」が多く居住しているためと推測されている。

2007年問題については、「団塊の世代が一斉に定年を迎えることによって引き起こされる様々な社会的影響の問題」と捉えられている。この課題は、公民館にとって、生涯に亘って学習権を保障する機関として、また豊かな地域社会づくりを担う中核的な施設として、正面から取り組まなければならない課題の一つである。公民館運営審議会では、この問題と主催事業のあり方について、検討を重ねてきた。その結果、次のとおり答申する。

※「団塊の世代」とは、作家の堺屋太一氏が小説の題名で命名したことに由来する。

第1次ベビーブームとなった戦後復興期の昭和22(1947)年～24(1949)年ごろに生まれた世代をいう。総務省などによると昭和22(1947)年～24(1949)年生まれは現在680万人いると推計され、他の世代に比べ突出して多くなっている。平成19(2007)年～21(2009)年には、団塊の世代の280万人以上が定年退職期を迎えるため、様々な社会問題が予想されている。

※「高齢化率」とは、65歳以上人口が総人口に占める割合のこと。14%を超えた社会を「高齢社会」、21%を超えた社会を「超高齢社会」という。

## 1. 団塊の世代の特徴について

事業を展開するにあたって、その対象となる「団塊の世代」について、次のように捉えることができる。

団塊の世代は、何かに付け、「試験」を経なければ「学校」や「社会」の仕組みの中に入れない世代であった。自分の目標に向かっていつも競争をしていなければならない世代であった。そのため、いったん入ってしまうと、そこへの所属意識が非常に強くなり、ドロップアウトしたくない、そこから抜けるのが怖いという感覚を、知らず知らずのうちに育てて来てしまっている。それゆえ定年後に、自分が社会の中での位置を占められない、何の役にも立たない人間になっている、ということに気づくのはとても怖い事となる。どこかにぶら下がっていたいとか、少なくとも、こういうところで役に立っているのだという安心感のようなものが必要であり、社会の中の一員として認められているという、支えや保証の様なものが欲しい。そうしないと不安になってしまうという世代でもある。

さらにその特徴を列挙してみると、次のような面があげられよう。

- 戦後の民主主義教育を受けた世代
- 自由を謳歌した世代
- 学園紛争、学生運動を体験した世代
- 貧しかった日本から高度経済成長の日本を見続けてきた世代
- アメリカの大衆文化にあこがれ、影響された世代
- 競争でいつも誰かをけ落としながら昇ってきた「うしろめたさ」を引きずった世代
- 家族制度や家父長制等の戦前までの名残を内面に残している世代
- 知識や技術技能等、文化的要素を高く評価し知的好奇心の強い世代

## 2. 団塊の世代（中高齢）の地域分布について

高齢化率（65歳以上）の高い地域は、元町地域の猫実3・4丁目、堀江2・3丁目と中町地域の富岡1・4丁目、今川4丁目、弁天2・3・4丁目、美浜3・4丁目が高くなっている。団塊の世代（中高齢）を含む55歳以上の比率が30パーセントを超える高い地域は、元町地域では、猫実3・4丁目、中町地域では、東野3丁目、富岡1・3・4丁目、今川4丁目、弁天2・3・4丁目、海楽2丁目、入船2・3・5・6丁目、美浜3・4・5丁目、舞浜2丁目となっており、富岡公民館と美浜公民館の地域が今後10年間で超高齢社会となることが予想されている。（別添1参照）

## 3. 具体的な事業の展開について

この度の諮問にあたって、「高齢者講座のアンケート」を平成18(2006)年1～3月、各公民館利用者の協力で実施し、338名から回答を得た。公民館で取り上げて欲しい講座を、項目として挙げ、複数回答有りとして集計したところ、第1位が健康関係の191名、第2位は福祉問題の95名、第3位が歴史講座の92名となった。以下、4位が81名でパソコン講座、そして園芸の講座と続いている。（別添2参照）

具体的には、①高齢者（概ね60歳以上）を対象とした講座で、行って欲しいもの、提案できるものがあつたら、また、②これから高齢期を迎える概ね50歳代の方を対象とした講座で、行って欲しいもの、提案できるものがあつたら、具体的に記入して下さい、という二つの設問に対して寄せられた回答が別添3の通りであった。

これらを受けて、次のように、具体的事業を実施することが必要であると答申する。

#### (1) 健康に関する講座

いつまでも元気に暮らしたいという思いは誰でも抱く願いであろう。自分一人で運動を続けるには億劫であったり、足腰が弱くなってきたなど感じている人達を対象にした、身近な地域で運動できるような、高齢者向けの運動教室等を、全ての公民館で開催することが望ましい。

これは平成16(2004)年度に本審議会でも答申した「1. 心や体を健康に保つための予防的な講座を行うこと。2. 地域の人たちが公民館で、生き生きと健康に生活していくということによって、医療費を下げる効果を期待できる講座を行うこと。」と関係し、既に一部の公民館で実施されている事ではあるが、更に充実していただきたいと考えるからである。

なお、企画に当たっては、効率的な事業運営の観点からも、庁内各関係機関と調整していくことが重要と考える。

「ハイキング」などのアウトドア事業、「うたごえ広場」のような心身の健康増進を図る事業の充実や、病気の予防や薬の知識等、直接保健医療にかかわる講座の設定も必要と考える。

#### (2) 福祉に関する講座

自らの老後の生活に対する不安、健康に対する不安、収入の減少、体力の衰え、そして身近に迫り来るであろう死への不安、あるいは親の介護問題等多くの事が加齢に伴い発生してくる。誰もが老後は、心おだやかに残された日々を送りたいものだと願っているはずであり、こうした諸問題の解決に結びつく講座、少しずつでも不安を解消するのに役立つ講座を実施していくことが必要と考える。

#### (3) 教養講座

人は誰も学びたいという要求をもつ。生涯にわたり学び続けることによって自分の存在意義を見いだしたり、老いの不安を解消することができたり、知識を増やす喜びや楽しみを感じることができる。特にこの世代の人にとっては、知識や教養は大きな価値や喜びを感じる要素の一つと言える。このために、歴史・文学・古典等の教養講座を充実することや、時には戸外に向かい、歴史探訪、文学散歩、美術館訪問等の活動を含む講座も必要であると考えられる。

#### (4) 趣味講座

気軽に公民館に近づけるような、また、日々の生活を楽しく過ごすためにも、肩のこらないアクセントとしても趣味講座は必要であると考えられる。そして、自然や環境の学習につながる花や野菜栽培等の園芸、趣味や暮らしに役立つパソコン・料理教室等、きっかけ作りや仲間作りの入り口として効果的な講座を充実していく事が必要と考える。

#### (5) 居場所作り

平成16(2004)年度に本審議会でも「高齢者の孤立防止や健康管理・増進のため、公民館に「場」を設けて、関わり合い、誘い合って、交流促進するような事業を行うこと。」を答申

した。既に「いきいきサロン」「広場ひだまり」などの講座名で実施されて来ているが、地域社会の「茶の間」とも言える公民館として、気楽に集える場の提供、そしてさらに参加者一人ひとりの個性や特技を生かしながら楽しい時間を過ごすことのできる企画も必要と考える。

#### 4. 男性の、高齢者を集められる講座・事業の設定とサークル化について

団塊の世代と呼ばれる人の多くは、自分が今までにやってきたもの、あるいは生きてきたことが少なくとも

社会の中で役に立つよ、とすることであれば、そこにしがみついても存在感を示したいと思う傾向がある。そうした意味でつながりを持つ講座が企画されれば、より集まりやすくなるであろうと思われる。地域や社会の中で何らかの存在意義を認めてもらえるように繋がる講座で、しかもアカデミックな香りがしたり、理論的な雰囲気を持つ講座であれば、行ってみたいと思いつきやすい。男性の高齢者にとってはそうした繋がりを持つ事業や講座の企画をすることが必要と考える。

例えば音楽について言えば、アメリカ大衆文化にあこがれた団塊の世代の多くにとって「ジャズ」が挙げられよう。そこでは懐かしさが参加の垣根を低くしてくれるであろうし、懐かしさは癒しでもある。また、釣り好きが魚の捌き方を覚えたくて料理教室に参加してくる例もある。

しかし、そこで注意しておかなければならないのは、自らの行動に合目的性や意義的価値を意識してしまいがちな世代であるがゆえに、一つの目的や意義に到達し納得できると、更に発展して組織や仲間に関わり、再び個に収束してしまう傾向が強いことも特徴的と言える。まさに少年の様な心の世代でもある。そこで、集まりを持つ事業から自主自立性を要請し、継続的な活動に繋がるサークル化、仲間作り等、様々な方法で繋がることへの支援を合わせ考えておく必要がある。

#### 5. 「団塊の世代」の公民館事業での活用について

団塊の世代（高齢者）の中には、コンピュータや特殊な技能・技術などに堪能な方々がいる。そこで高齢者の得意分野を引っ張り出してあげるということも必要である。特にこの世代の男性は一家言の持ち主であったり自慢したがりやであり、知識や技能・技術に長けた人材でもある。少々おだてれば、すぐにその気になって手を挙げてくれたり、男子一生の仕事と思ったり、義を見てせざれば何とやら、というような気持ちになってくれる傾向は強い。そうした心情をうまく引っ張り出してあげて、この世代の男性が乗ってこれるような分野、取り込みやすいような領域等を考えた事業を検討していくことが必要である。

団塊の世代の活用事業は、生き甲斐対策事業であると同時に、色々な経験や技術を持った方々が、若い人たちにそれを教え伝えていく事で「世代をつなぐ事業」として、また「文化の伝承」の場としても重要なものとする。

また、地域の人々の交流も図ることができ、一般講師よりも廉価な謝礼で、またはボランティアとしての活用も考えられるものであり、経済的にも有効性が期待できよう。

#### 6. 高齢者という名称のイメージと使用について

高齢者という言葉が何気なく使われているが、この言葉から受けるイメージが、人を集め

るときにふさわしいのか検討してみる必要がある。NHK等でイベント事業を実施しているときには、「中高年」のための何々、という言い方をしている。そうした言葉の使い方、文字の使い方等を工夫し、造語や用語の公募等も視野に入れつつ、イメージや響きなどについても配慮した使い方を考えていく必要があると考える。

## 今後の公民館定期利用団体登録制度のあり方について

この問題は、昨年が続いて諮問されたものである。昨年の答申では、次のように述べている。

「今後の公民館定期利用団体登録制度のあり方について検討を重ねてきましたが、たくさん  
の問題を含み、非常に難しい問題です。また、変更・廃止を想定した場合、それに伴う影響  
もかなり大きなものがあります。このため、性急な結論は利用者を混乱させるため避けるこ  
とが望ましいと考えます。平成17(2005)年度は現状維持ということで、既に17(2005)年4月  
から18年3月までの定期仮予約を入れる作業をしているということなので、17(2005)年度中  
の変更は見送ることとして、平成18(2006)年度の対応を見つめ継続して検討していく必要が  
あります。」というものであった。

いま、平成17(2005)年3月の浦安市社会教育委員会答申「浦安市における社会教育の振興  
について」を受けて、社会教育認定団体の見直しが行われている。更にまた、「公民館施設  
予約管理システム更改事業」が始まり、平成20(2008)年度の新システム導入も検討されてい  
る。

こうした現在の状況を踏まえると、今年度についても、先の答申と同様に、地域の団体の育  
成とともに、利用機会の均等性・平等性等を考慮し、その制度の変更・廃止等を見据えた立  
場で引き続いて検討を続けることとしたい。また公民館においても引き続きそのあり方を  
検討するように要請する。

### 浦安市公民館運営審議会委員

委員長	竹本	正和
副委員長	木邨	定男
委員	本田	照雄
委員	杉山	かおる
委員	加藤	和代
委員	内田	祐子
委員	杉江	聖子
委員	柴田	正司
委員	鈴木	由起子
委員	長澤	成次
委員	大杉	麻美
委員	樋口	末吉

## 別添1

## 浦安市字別住民基本台帳人口及び世帯数

平成 17 年 3 月 31 日現在

字 名 称	世帯数	人 口				
		男	女	計	55 歳以上比率	高齢化率
猫 実	4,738	4,927	4,438	9,365		
1丁目	866	964	888	1,852	23.33	9.34
2丁目	1,302	1,454	1,235	2,689	23.28	11.45
3丁目	714	755	758	1,513	33.11	16.72
4丁目	917	848	835	1,683	30.12	17.59
5丁目	939	906	722	1,628	24.26	13.21
当 代 島	4,554	4,695	4,078	8,773		
1丁目	1,485	1,400	1,187	2,587	24.63	12.52
2丁目	1,919	2,076	1,846	3,922	22.82	11.27
3丁目	1,150	1,219	1,045	2,264	18.95	10.25
北 栄	8,093	8,304	7,411	15,715		
1丁目	1,480	1,300	1,168	2,468	17.42	8.14
2丁目	2,365	2,293	2,052	4,345	14.75	6.51
3丁目	2,513	2,646	2,258	4,904	13.97	5.90
4丁目	1,735	2,065	1,933	3,998	10.71	3.88
堀 江	7,033	7,317	6,694	14,011		
1丁目	1,455	1,458	1,470	2,928	20.36	10.04
2丁目	1,007	1,068	983	2,051	28.08	15.36
3丁目	975	1,038	968	2,006	27.57	14.86
4丁目	1,691	1,765	1,613	3,378	24.13	12.17
5丁目	947	1,039	870	1,909	21.22	8.91
6丁目	958	949	790	1,739	19.67	7.82
富 士 見	7,136	7,549	6,817	14,366		
1丁目	1,087	1,276	1,140	2,416	12.21	5.46
2丁目	1,274	1,403	1,315	2,718	14.28	5.81
3丁目	1,828	1,835	1,675	3,510	13.39	5.27
4丁目	1,106	1,196	1,088	2,284	14.19	5.56
5丁目	1,841	1,839	1,599	3,438	9.98	3.14
(元町地域計)	31,554	32,792	29,438	62,230		
東 野	3,138	4,270	4,031	8,301		
1丁目	1,013	1,357	1,296	2,653	12.66	4.82
2丁目	1,488	2,042	1,891	3,933	10.70	4.30
3丁目	637	871	844	1,715	30.44	12.48

鉄鋼通り	23	23	2	25		
1丁目	9	9	1	10		
2丁目	1	1	0	1		
3丁目	13	13	1	14		
富岡	2,551	3,473	3,645	7,118		
1丁目	316	415	475	890	37.98	17.75
2丁目	572	830	817	1,647	25.93	8.86
3丁目	1,373	1,841	1,958	3,799	31.48	10.27
4丁目	290	387	395	782	35.29	17.14
今川	2,575	2,591	2,669	5,260		
1丁目	727	658	664	1,322	16.49	8.02
2丁目	793	721	790	1,511	20.19	9.33
3丁目	519	621	571	1,192	15.86	6.04
4丁目	536	591	644	1,235	34.25	15.30
弁天	2,144	2,797	2,893	5,690		
1丁目	506	676	688	1,364	23.75	9.82
2丁目	676	912	1,012	1,924	40.49	18.46
3丁目	501	664	670	1,334	41.86	18.96
4丁目	461	545	523	1,068	37.73	16.10
海楽	2,740	3,115	2,813	5,928		
1丁目	1,485	1,651	1,485	3,136	23.25	10.81
2丁目	1,255	1,464	1,328	2,792	30.37	13.22
入船	3,953	5,184	5,375	10,559		
1丁目	412	509	574	1,083	18.19	6.09
2丁目	792	1,104	1,197	2,301	33.77	10.43
3丁目	620	898	906	1,804	35.14	11.81
4丁目	984	1,060	928	1,988	25.30	10.11
5丁目	320	461	516	977	37.05	11.77
6丁目	825	1,152	1,254	2,406	37.32	12.55
美浜	4,011	5,269	5,706	10,975		
1丁目	1,210	1,564	1,771	3,335	2.46	9.36
2丁目	903	1,159	1,225	2,384	26.38	12.67
3丁目	444	617	644	1,261	43.62	18.64
4丁目	499	676	737	1,413	41.12	15.78
5丁目	955	1,253	1,329	2,582	33.04	10.88
舞浜	1,366	1,898	2,170	4,068		
2丁目	803	1,088	1,212	2,300	34.19	13.91
3丁目	563	810	958	1,768	27.32	9.95
港	7	7	0	7	0.00	0.00



(中町地域計)	22,508	28,627	29,304	57,931		
明 海	2,654	3,686	3,765	7,451	13.10	4.67
日 の 出	4,955	7,132	7,047	14,179	12.34	4.64
高 洲	2,805	3,996	4,076	8,072		
1丁目	477	686	643	1,329	15.95	6.47
2丁目	257	328	391	719	16.00	7.93
3丁目	349	533	548	1,081	22.20	11.29
4丁目	0	0	0	0	0.00	0.00
5丁目	1,106	1,774	1,774	3,548	9.02	2.87
6丁目	491	640	628	1,268	17.82	6.15
7丁目	0	0	0	0	0.00	0.00
8丁目	0	0	0	0	0.00	0.00
9丁目	125	35	92	127	100.00	100.00
(新町地域計)	10,414	14,814	14,888	29,702		
合 計	64,476	76,233	73,630	149,863	21.35	9.03

別添2

高齢者講座のアンケート集計表

項目	中央	堀江	富岡	美浜	当代島	日の出	計
平和	11	1	7			2	21
人権	8	1	2		1	2	14
環境問題	13	3	14	4	9	16	59
福祉問題	32	9	32	4	17	15	109
教育問題	9	0	5	1	2	5	22
健康関係	49	16	57	15	33	38	208
文芸	14	3	14	7	4	7	49
歴史	40	4	17	9	6	25	101
哲学	16	1	2	1	2	7	29
美術	14	5	6	5	8	13	51
音楽	13	6	23	6	8	13	69
演劇	1	1	7	2		4	15
料理	18	12	11	5	8	15	69
ダンス	6	7	9	4	4	4	34
園芸	21	5	15	5	10	16	72
パソコン	28	4	16	7	19	16	90
計	293	78	237	75	131	198	1012

性別	中央	堀江	富岡	美浜	当代島	日の出	計
男	24	5	14	4	7	13	67
女	69	29	68	22	35	48	271
計	93	34	82	26	42	61	338

年齢	中央	堀江	富岡	美浜	当代島	日の出	計
10代	2	0					2
20代	1	0					1
30代	3	2	3	6	6	5	25
40代	1	2	1	4	3	4	15
50代	16	6	6	7	16	9	60
60代	52	11	15	6	12	30	126
70代	15	8	34	1	5	10	73
80代	3	5	21	2		3	34
	0	0	2	0	0	0	0
計	93	34	82	26	42	61	338

### 別添 3

#### 高齢者アンケートの集計

項目 1 高齢者(概ね 60 歳以上)を対象とした講座で、やって欲しいもの、提案できるものがありましたら、具体的に記入ください。

- ・ 健康
  - ・ ボケ防止のあれこれ
  - ・ 高齢者、健康維持のための座学と実技（ウォーキング、軽スポーツ）の講座（シリーズで）座学は生活習慣病を主にする
  - ・ ヨーガ講座
  - ・ 健康増進エクササイズ。ボランティア活動入門講座。
  - ・ 認知症にならないための脳のきたえ方とか、体操など。
  - ・ 健康維持のための学習（主として生活習慣病）
  - ・ 健康、医療関係及び歴史、哲学など
  - ・ 健康維持のための講座(骨そしょう症予防)
  - ・ 健康関係（シリーズ的に）、医学的なもの、習慣病の予防、対処法（例えば運動、食習慣など）
  - ・ 食事（生活習慣病）の指導
  - ・ やさしい体操教室・ぼけ防止になるような楽しい講座・太極拳・気功術
  - ・ 男性が参加しやすく、体力にあった室内体操
  - ・ 楽しく簡単にできる健康に関する運動
  - ・ シェイプアップ体操
  - ・ 認知症予防についての知識
  - ・ 太極拳
  - ・ 健康に心がけたいため、一人暮らしで不自由な体で動けなくなった時は、どこへ連絡するのかなど、安心して不安をなくすなど。
  - ・ 脳を活性化するゲームがブームになっているらしい。（シルバー世代に）
  - ・ 健康管理
- 
- ・ 高齢者から若者に身近な歴史（実際にあった事）を語りつぐ場
  - ・ 市の高齢者福祉、介護対策、今後の方針
  - ・ ボランティア講座
  - ・ シルバー人材講座
  - ・ 地域社会に福祉ボランティアできる講座、体験（車イス・盲・ガイド・話相手ボランティアの講習等）
  - ・ 福祉問題、ボランティア等で社会協力できるもの
  - ・ 少子高齢化対策講座
- 
- ・ 昭和史
  - ・ 千葉の歴史
  - ・ 浦安の歴史
  - ・ 世界史・日本史講義
  - ・ 自分史作成の指導
  - ・ 歴史スポットの散策
  - ・ 浦安市（町）の歴史と今後の都市計画
  - ・ 宗教の歴史講座（仏教・キリスト教・イスラム教を中心とした）
  - ・ 歴史（これからの世界はどのように動くか）

- ・ 絵手紙
- ・ もの作り（竹とんぼ、水鉄砲など）
- ・ ネイチャーゲーム等（自然に親しむ）
- ・ 教養講座
- ・ 講師を囲み、社会、政治、歴史等を座談的に意見交換できる場が欲しい
- ・ 市及び市の外部組織の解説
- ・ ドイツ語
- ・ 漢文
- ・ ウォーキング（近場を歴史をかねて歩く）
- ・ パソコン初歩から
- ・ 園芸や陶芸関係
- ・ 釣り講座
- ・ 憲法講座
- ・ 年代や退職後でもあり、あまり専門性の強いものは、疑問である。ただし、あまり娯楽適であっても、不満が出ると思われる。健康や文化歴史など多少支出を負担してもよい
- ・ 古文書解説
- ・ 非学校的歴史の学習
- ・ 参加者が中心となる討論学習（歴史・地域）
- ・ 哲学（生きるとは何か）
- ・ マージャン教室
- ・ 囲碁・将棋
- ・ 災害リスク（地震、台風、火災、犯罪等）から基本的な防災知識対策
- ・ 生活上のリスク管理から保険の話、介護保険関係全般
- ・ 地域社会との関わりから、NPO、奉仕、浦安市の取り組み状況、小学校、中学校、高校の悩み問題点（交通問題、子どもへの犯罪防止）
- ・ 楽器入門講座
- ・ 日本および世界の経済の動向について（株投資に参考になるもの）
- ・ IT 講座の講習を週3回程度（中級）
- ・ グランドゴルフ初心者講習と中級と級別に近くのグラウンドを利用して希望
- ・ 手芸
- ・ インターネット講座
- ・ 貸農園
- ・ 語学
- ・ 料理
- ・ 手芸
- ・ 習字
- ・ バスのおでかけ
- ・ 陶芸のみ（奥が深い）
- ・ 60歳の実母と義父がパソコンをはじめました。そうゆう物をゆっくり教えてもらえる講座があると良いです。若い人が受講している講座をゆっくり色々教えてもらえるのが良いです。高齢者も若い人も現在はないと思います。
- ・ 子育て(孫)→新生児～高校
- ・ 趣味のつくり方(種類、広さ、地域に係わる方法)
- ・ 資産の有効活用と還元対策(寄付等社会還元などと税金対策)
- ・ 団地一人住まいの高齢者が孤立しないような講座
- ・ フラダンス
- ・ 日帰りバス旅行(歴史や史跡に関する所へ)
- ・ 体操教室
- ・ 料理
- ・ パソコン
- ・ ベイカレッジ美浜みたいな講座
- ・ 麻雀

- ・ 孫世代と楽しめるゲームやPCなどはいかがか。
- ・ 健康関係（スポーツなど）とパソコン（初心者用）
- ・ 高齢者向け生活講座
- ・ 初心者向け高齢者対象芸術講座
- ・ パソコン教室 絵画 書道
- ・ 今まで企業戦士として仕事だけに打ち込んできた男性にとって、家庭に入り家族と長い間過ごす様になった時、どう心がけたらよいか専門家による講演会等。
- ・ 老後の生活設計。年金相談。

項目2 これから高齢期を迎える概ね50歳代の方々を対象とした講座で、やって欲しいもの、提案できるものがありましたら、具体的に記入ください。

- ・ ツボ刺激
- ・ アロマセラピー
- ・ 薬膳
- ・ マッサージ
- ・ 自律訓練法
- ・ 健康のためになる講座
- ・ 手軽にできる身体にやさしいストレッチ
- ・ 健康、体力に自信を失う年代だとわかりましたので、精神衛生や健康に関する講座はありがたい。できれば、まだ働き盛りなので、土・日か午後（夜）も多くして欲しい。
- ・ ストレッチ・ヨガ・軽体操など体を動かすもの。
- ・ リズム体操

- ・ ボランティア活動入門
- ・ 老人が老人を介護する時代。ヘルパー講座などは。
- ・ 年金問題
- ・ 社会奉仕に関する学習
- ・ 一人住まいの高齢者をどうやって把握するか

- ・ 千葉県内市川、浦安地区の歴史
- ・ 歴史、文学の講座を多くして欲しい
- ・ 近隣の名所旧跡案内
- ・ 世界史
- ・ 史記など中国古典とその背景などを学べる歴史講座。
- ・ 当代島の歴史などを歩いて散策する。
- ・ 歴史探訪のバスハイクなど

- ・ 日曜大工的なもの（簡単な家の修理ができる）
- ・ パソコン入門講座
- ・ 浦安市および市の関連組織の役割
- ・ 各公民館やその他浦安市の各種団体の紹介
- ・ 「笑いの科学」・「郷土史」
- ・ マージャン教室は手先を使うので、ボケが治った話を聞いた
- ・ 市外見学
- ・ 簡単にできる体操やダンス
- ・ 浦安を知る講座（ゆっくり浦安を見ていないうちにあまりにも変わってしまったので。）
- ・ 交流会（お茶のみ会）
- ・ 移住生活(海外、過疎地)

- ・ 定年後の夫婦生活を知る(夫の気持ち、妻の気持ち)
- ・ 定年を迎えた男性の参加できるような講座(顔合わせのような)
- ・ 薬用植物
- ・ 屋外の公園等での野草の説明
- ・ 宗教を考える
- ・ セラピー関係(音楽等々)
- ・ ベイカレッジ美浜みたいな講座
- ・ 英会話、韓国語等
- ・ ボランティア活動の具体的な方法
- ・ 二胡（中国楽器、胡弓）
- ・ 地域社会に融和、協調できる趣味等の具体的案内。
- ・ 講演会等の新しい知識につながるもの。
- ・ 初心者でも入っていけるいろんな分野の体験講座を実施してほしい。
- ・ 男性の料理。健康講座。心理学講座。
- ・ 今までの長く積み重ねてきた知識等を次世代に伝えられる場をできる様にする事。
- ・ 生涯を通じてできる趣味的講座。
- ・ 美しく年を重ねるには、老いの美学のようなもの。